



414  
A1277

費原之子女何業

多由費原之子女何業未定之及具狀  
 狀通之ニテ熟シモ多額無産ノ迄多親戚

急家ノ助成に依リ後中ニテノ出テ過ク  
 卜出テ後テノ前途自派ノ目的ナク迄ニ東ニ  
 自派ヲ持ツノ妥憫然ノ至ニ付其年中  
 有由荒山差地無代價刻々ニ子何出ニ交  
 優渥ノツ仁曲ヲ以テツル所ニ成ニ交ニ  
 費原一般ノ幸福ト存候然レトモ是ノ未  
 実地及調査、要大抵確除坦ノ地ニメ  
 申材兼田作妙林等迄未存至ニ此身  
 込ノ持所ヲ際テ外并望テ亦所地位僅ニ  
 十分ノ一ニ過キス友ニ男原惣右衛門教子男



大正十一年四月  
 濃侯爵郵寄贈









六斗有忍人妻... 梅住其他戸教人台... 備見... 正

一戸教之方... 二戸

戸人口一万... 七人

内

戸教方... 二戸

不...

戸人口... 八人

戸教方... 四戸

梅田...

戸人口... 九人

戸教方... 六戸

カ...

戸人口... 七人

戸教方... 一戸

...

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

戸数ある白中二戸

戸数ある白中二戸

戸数ある白中二戸

是は此の地味を以て其の籍に分

戸数ある白中二戸

戸数ある白中二戸

是は此の地味を以て其の籍に分

中に分

戸数ある白中二戸

戸数ある白中二戸

是は此の地味を以て其の籍に分

出分

戸数ある白中二戸

戸数ある白中二戸

是は此の地味を以て其の籍に分

是は此の地味を以て其の籍に分

是は此の地味を以て其の籍に分

是

戸数ある白中二戸

戸数ある白中二戸

是は此の地味を以て其の籍に分

是は此の地味を以て其の籍に分

是

戸数ある白中二戸



松林  
西木  
ツボ木

三下子なる回中一本  
三下子なる中一本

是は水林に降中と白鳥を記す

凡そ別子なる中何れも記す下り七下回中

松  
雑木  
カサ木

木の下り七下中一本  
下り七下中一本

是は良材希材方有降中と記す

三分

右の通に於也

明治七年九月

若松町令澤芳徳